GET YOUNG FELLOWS!!

YOUTH ACTION NEWS

2008 年 3 月 21 日　第 2 号　日本医労連青年協議会　fax 03-5806-2322　E-mail: seinen@irouren.or.jp

遊び、学び ACT（行動）しよう

春闘がんばろう
新歓ふやそう

08春闘特集号！！

日本医労連青年協議会　０８春闘アピール

全国の青年組合員のみなさん、日本医労連青年協議会は、08 春闘において、青年が積極的に職場・地域の諸行動に参加し、その運動の先頭に立つことを心から呼びかけます。

現場は、医師・看護師・介護職など様々な分野で人手不足になっています。その状況の中、青年職員は「やりたい医療・介護ができない」「もっとできることがあるはず」と矛盾を抱え仕事をしています。燃え尽きて職場を去る仲間、メンタルをはじめ健康を害し職場を去る仲間が後を絶ちません。

右が新喜倫生青年協議長
左は、松尾晃事務局次長
（07全国アクト後のひとコマ）

地域においては、「お産が出来ない」「救急患者のたらい回し」、４月からの「後期高齢者医療制度」など、医療を受けたくても出来なくなってきています。

しかし、みなさん、現状は変化しつつあります。「医師・看護師など増員署名」が第 166 回通常国会で採択され、２月 13 日におこなわれた日本医労連の「政党政策討論会」には与野党問わず賛同・激励を得ています。舛添厚生労働大臣も、社会保障にかかるお金を毎年圧縮するという路線はもう限界、と発言しています。ことしの春闘は、政治の流れを変える絶好のチャンスです。大幅増員で、安全・安心の医療と介護を実現しましょう。

このような運動をさらに大きくするためにも、たくさんの仲間に参加を呼びかけてください。まだ組合に入っていない仲間には、組合加入を勧めましょう。

青年部などでの活動では、憲法や労基法など、労働者としての権利をしっかり学びましょう。権利を知ることが、労働組合活動や職場の改善の力になります。また、「たたかえば変わる」（日本医労連春闘職場討議資料）を使って、08 春闘で自分たちが何をしなければならないのか、情勢はどうなっているかなど、話し合いをしましょう。

働きつづけられる職場、安全・安心の医療・介護を実現、地域医療を確保していくため、青年が主体となり、全国の仲間と力を合わせて、08 春闘がんばっていきましょう。

日本医労連青年委員　０８春闘の決意と訴え！！

田中直光（熊医労民医連支部・水俣協立病院・臨床工学技師）

医療崩壊が叫ばれ始めて久しいですが、私のはたらく水俣でも、着実にその波は押し寄せてきています。昨年、近隣にある公立総合病院の規模縮小に伴い、多くの患者を当院でも受け入れることとなりました。結果的に、医師と看護の現場に過重な負担を強いる形となっています。

先日、看護師の率直な意見を聞くためにアンケート調査を行いました。「日勤の時には、せめて１８時までには仕事を終わらせたい。」「月に１度でいいから日曜日に休みをとって家族と過ごしたい。」「もうやめたい、でも私には看護師をするしか道はない。」など切実な現場の叫びがそこにはありました。

この叫びをどう、今春闘に結びつけるのか、今年はいつになく気合の入った春闘を迎えています。３月１２日、１回目の回答がありました。基本給は定昇のみ、夏期一時金は昨年並みでしたが、看護師の準夜深夜手当各３００円アップを勝ち取る事ができました。しかし、まだまだ現場の声が届いているとは、言えません。今後も、労使交渉と対政府運動の両輪で残りの春闘を闘い抜きたいと思います。

櫛谷由紀枝（群馬県医労連二之沢愛育会労組・保育士）

「医師が足りない！看護師が足りない！」そんな状況の中、日々の仕事も激務を極めています。ギリギリの人数でのシフトで体調を崩しても休めない…。また、診療報酬の引き下げにより、賃金が下がっています。

特に、青年の賃金は一人で生活するだけでギリギリです。健康を害したり、失望したりして辞めていく仲間もいます。こんな職場では、「安心・安全の医療・福祉」を実現できません。

春闘は、そんな現場の状況を経営者や地域、国に訴える絶好の機会です。大幅増員、労働条件の改善を求めて、全国の仲間と力を合わせて春闘に取り組みましょう！

右が櫛谷さん（青年代表者会議にて）
左は中野前青年委員
趣味ではありません･･･^^;

青年協ブログ　更新を大幅強化！全国からも記事の投稿を！！

青年協では、全国の青年のとりくみ、青年の声、その他もろもろの情報をタイムリーに紹介するため、「青年協ブログ」の更新体制を大幅に強化しました。県医労連、単組の青年の動き、声をより多く紹介したいと思います。ぜひ記事や自由な意見を投稿してください！！

青年協ブログ　http://irouren.cocolog-nifty.com/seinen/

投稿先アドレス　seinen@irouren.or.jp